

# 政策・制度実現に向け、県民の声を把握!

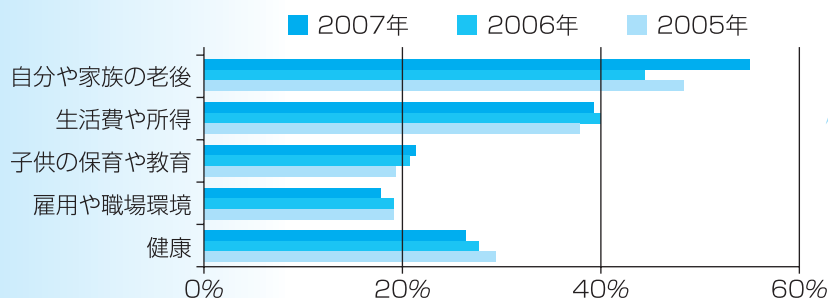
・・・2008年県民意識調査1万部を目標に取り組みます

キーワード  
「安心・安全」に着目

連合群馬は『すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現』に向けて、発足後の1990年から『県民意識調査』に取り組み、より多くの県民ニーズを把握する中で「政策制度要求と提言」を取りまとめ、大澤県知事をはじめ各市町村に提出しています。

昨年は、自然災害の少ない群馬県でも台風による大きな災害や全国的に食の偽装問題、子供による重大事件など、私たちの身の回りでは「安心・安全」が危ぶまれております。従って今年の県民意識調査では、「安心・安全」に着目した設問で、生活や仕事、社会保障制度、環境など色々な角度から県民の声を調査します。

## 心配事・困り事・関心事は何ですか? (過去3年間の県民意識の推移)



過去の推移では、『自分や家族の老後』に関する回答が多く、ここ数年の動きでは『子供の保育や教育』の回答が上がってきていることが読み取れます。

2007年度県民意識調査結果、政策・制度要求の詳細は、連合群馬ホームページに掲載しています。

<http://www.rengo-gunma.gr.jp/siryuu/index.html>

資料集

県民意識調査へのご協力をお願いいたします!!

# 常時相談体制の実践に向けて

県内12地協でいつでも労働相談を受けられる体制に向けて取り組んでいます

連合群馬では発足以来、県内労働者の悩み解決に向けたアドバイスを電話で行う「なんでも労働相談ダイヤル」を通年で取り組んできました。更に、2003年2月からは、県内12地協で直接面談による労働相談を定期的に受け付ける「地域なんでも労働相談会」を実施してきています。一方現在、非正規労働者の増加など労働環境の変化に伴い、労働相談件数は増加しており、その内容も多様化しています。そのような中、連合群馬では、相談者のニーズに対応し、いつでも県内12地協で労働相談が受けられる体制に向けた論議を行ってきました。

そして、4月を目標にスタートすべく、相談対応者のスキル向上のための労働相談研修会や対応マニュアルの作成など準備を整えています。

## なんでも労働相談研修会開催



1月26日、勤労福祉センターで開催し産別・地協役員48名が参加しました。

研修は、常時相談体制に向け作成を進めている『労働相談対応マニュアル』を活用し、①労働相談の考え方や流れ、②具体的な相談対応、③外部機関との連携、④よく活用する労働基準法について説明し、自信を持って相談に対応する基本的な知識やノウハウを共有しました。また、実際にあった相談を事例に、具体的な対応や相談のポイント、アドバイス方法などを学習しました。